

災害ボランティア活動報告 (No. 12)

年月日: 平成 24 年 2 月 3 日 (金) ~ 2 月 5 日 (日)

活動場所: 福島県南相馬市

活動内容: 個人宅の瓦礫の撤去

活動拠点: 仲町児童館ボランティアセンター

参加者: 木下史典 : 大久保隆史 : 吉田直樹 : 武末直人

活動報告:

2 月 3 日 (金) JR 錦糸町駅に 22 : 00 集合

首都高の平井大橋から常磐自動車道広野に向かう、そこで海岸線の道路は通行止めであり、料金所の職員にお聞きすると、『南相馬に行くには狭い山道を通る道しかなく暗いので東北自動車道に迂回して福島西で下りて下さい』との事でした。

私の下調べ不足で、参加者の皆様には申し訳ないことをしました。

燃料を入れるのにサービスエリアに寄ったのですが深夜はやっておらず、7 時開店でそれまで休憩しました。そのため VC に着くのが 9 時を少し回りました、お気をつけ下さい。

グーグルで行き方を調べたのですが、現地の方に道をお聞きすべきでした。福島にボランティアに行くさいは現地の VC に確認すべきです。



※今回のミッションの参加者

写真左から、武末隊員 : 吉田
隊員 : VC の吉田さん : セン
ター長の松本さん : 木下隊員
: 大久保隊員



※左が南相馬市放射線量率マップであり、地震と津波が有ったことだけではなく、原発事故が有ったことを痛感させられます。やはり山側に行くほど線量が高いことがよく分かります。

右の写真が高速バス運行のお知らせです。東京から南相馬まで往復6千円で行けます。お時間のある方はぜひボランティアにご参加下さい。

※現地 VC のお話ですと、左のマップの南部分小高地区は空白です、避難区域になっているのですが、4月に緩和され入ることが出来るようになります。現在は震災当時、自衛隊が遺体の捜索をした後そのままになっており、瓦礫の撤去を行うようです。

まだまだ、ボランティアの力が必要です。ですが、時間が経つにしたがつてボランティアの人数が激減しており、皆様のお力をお貸しください。



※左の写真は、朝の打ち合わせの時のものです。今回は千葉のボランティア団体がボランティアバスで20人ほど来ておられたので、この日は合計30人ほどでボランティアを行います。通常は10人程度、それも土曜日です平日は5～6人です。

昨年の半分以下の人数です。これからの小高地区の瓦礫の撤去を考えると、いつまでかかるのか心配になります。

右の写真は、道路封鎖をしている現場です。原発事故で封鎖されている事が実感されます。武末隊員が道路で写真を撮っていたら警官から注意をされました。その緊張感が伝わります。

南相馬市は7万人強の人口で25000人の方々が避難しています。市の中心部でも店舗が所々閉店していて（マクドナルドが閉めていたりなど。）未だ收拾していません。これが日本の現況です。

災害支援ボランティアは、個人宅の所にお伺いして、津波で枯れた杉の木や竹の撤去を行いました。

帰りは、東京に戻る途中南相馬から東北道の福島西入口までの間、大雪が降っており数十年ぶりにタイヤチェーンを履きました。やはり峠は雪が降ると走行困難になります。

ボランティアに参加される方々はご注意ください。起伏の激しい山道を通りますので雪対策はしておかないと私たちのようになります。

予定より遅くなり、電車が終わつた時間で各隊員を送っていき帰宅は早朝になりました。

以上